1998 DEC. 1999 JAN. 広報 Vol. 540

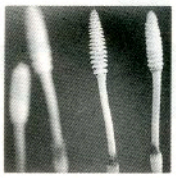
さめうら

年末年始
合併号

平成10年12月・平成11年１月



村の自然





江竜田の滝（二見ケ滝）

年頭のごあいさつ



鮫川村長
芳賀　文雄

鹿角平の草原

鮫川



強滝



天狗橋

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健康で希望に満ちた新年を迎えられましたこととお喜び申し上げますとともに、日ごろ村政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年は、長雨、低温、日照不足と併せて、梅雨明けの発表がない珍しい異常気象の年であり、稲作をはじめとする農作物に相当の被害を受けましたこと御見舞申し上げます。また、集中豪雨と台風により、人畜には被害がなかったものの、道路・河川・農地などに数多くの災害が発生し、約四億円の被害となりました。これらの復旧につきましては、新年早々から着手し、早期復旧に努める計画であります。

さて、平成十一年は、本村の財政は依然として厳しい状況ではありますが、創意と工夫をつくし、財源の確保に努め、急速に進む高齢化・少子化対策としての保健医療・福祉の充実、人づくり教育の推進、快適な生活環境の整備として集落排水（下水道）の供用開始や合併処理浄化槽の設置、水道施設の普及などを計画しております。

村振興計画や各種の計画による事業の実現に向けて、農林業および商工業の振興と活性化を図ることはもちろんのこと、国道三四九号バイパスの早期完成、新しい新宿橋の完成、県道・村道・農林道の整備改良などを推進します。

二十一世紀を目前にして、常に時代の流れや情勢の変化に順応できる効率的な行財政の運営を確立し、「住んでみたいむら・住みつづけたいむら」の創造をめざした新しい時代の村づくりを進めるため、心を新たにし、誠心誠意取り組んでいく所存であります。

終わりに、皆様方のますますのご健勝とご発展を心からお祈りいたしますとともに、さらなるご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

Aが優勝、青少年広場）

22日（水）　スポーツ教室（親子水泳、～8／4、計5回、24人参加、トレセン）

25日（土）　第2回ふくし夏まつり（約350人来場、ひだまり荘）

28日（火）　語学指導助手歓迎会（ハウス先生、開セ）

8月

2日（日）　消防操法競技東白川支部大会（消防ポンプ自動車の部で第1分団が準優勝、塙小学校校庭）

5日（水）　老人クラブゲートボール大会（高砂チームが優勝、さぎり荘）

6日（木）　夏の夜のコンサート（約80人来場、ほっとはうす）



夏の夜のコンサート

7日（金）　村民ふれあいグランドゴルフ大会（渡瀬Aが優勝、青少年広場）

15日（土）　第20回鮫川花火大会（商工会主催、青少年広場）

20日（木）　スポーツ教室（卓球、～12／17、計9回、33人参加、トレセン）

23日（日）　第2回痴呆予防セミナー（約200人参加、開セ）

28日（金）　公民館事業「趣味の講座」（楽しい写真教室、～11／18、13人参加、開セほか）

9月

2日（水）　山形チヨさん（渡瀬字木之根）に白寿賀状贈呈／住民健康診査（～11日、各地区

9日（水）　郡中学校駅伝競走大会（鮫中男子が優勝、塙町）

15日（火）　村敬老会（906人を招待、トレセン）

18日（金）　ふくしま駅伝結団式（開セ）

24日（木）　思春期保健セミナー（開セ）

27日（日）　村消防団秋季検閲（青少年広場）／郡女子9人制バレーボール選手権大会（トレセン）

10月

1日（木）　教育委員長に遠藤幹雄さん（木之根）就任

4日（日）　鮫川保育所開所30周年記念運動会（青少年広場）

7日（水）　県中学校駅伝競走大会（～8日、鮫中男子参加、泉崎村）

18日（日）　第11回高原の鮫川うまいもの祭り（雨天のためイベントはトレセン）

22日（木）　盆栽・山野草展（文化祭、～24日、開セ）

31日（土）　映画会（文化祭、商工会主催、開セ）／文化祭作品展（～11／4、トレセン）

11月

1日（日）　ふるさと文化芸能クラブ発表会（文化祭、開セ）

3日（火）　第3回青少年主張大会（最優秀賞に金澤かおりさん、開セ）／文化講演会（講師：伊奈かっぺい、開セ）



文化講演会

5日（木）　余所内地区給水施設整備工事起工式（現地）

6日（金）　菊花展（～11／8、文化祭、トレセン）

10日（火）　人形劇観劇（文化祭、開セ）／スポーツ教室（インディアカ開級式、トレセン）

11日（水）　第51回畜産共進会（村民運動場）

12日（木）　木之内コトさん（渡瀬字下）に白寿賀状贈呈

21日（土）　東白川農商高校鮫川分校創立50周年記念式典

22日（日）　第10回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（総合48位、村の部8位、敢闘賞受賞）／俳句会（文化祭、開セ）

28日（土）　短歌会（文化祭、さぎり荘）

29日（日）　第9回村民駅伝競走大会（東石が優勝）／第3回新そば祭り（約250人来場、ほっとはうす）

12月

8日（火）　民生委員委嘱状伝達式（役場会議室）

10日（木）　国道349号バイパス新宿トンネル貫通式

その他

福島県市町村広報コンクール

- 広報紙の部（町村Ⅱ部）　**入選**
- 広報写真の部（一枚写真）　**特選**
- 広報写真の部（組み写真）　**特選**

平成9年全国広報コンクール

- 広報写真の部（組み写真）

入選5席



全国広報コンクールで入選した組み写真

1998 ダイジェスト

鮫川村の1年を振り返る。

特集1

1998 DIGEST ダイジェスト

鮫川村の1年を振り返る。

1998年（平成10年）――。あなたにとって、どんな年でしたか。1年間を振り返ると、人それぞれにさまざまな思いがあることでしょう。広報さめがわでは、「1998・鮫川村の1年を振り返る」と題し、村内の主な出来事を拾ってみました。

1月

4日(日)　村消防団出初式(開セ)
9日(金)　健康相談会（～2／26、各地区)
15日(木)　第50回村成人式（新成人81人出席、開セ)


成人式

22日(木)　国道349号バイパス新宿トンネル起工式
25日(日)　東京鮫川会総会（約80人出席、東京都)
31日(土)　都市交流バスツアー（～2／1、約30人来村出前うたごえ喫茶、ほっとはうす)

2月

1日(日)　第10回村綱引き競技大会（男子は青生野A、女子は西野が優勝、トレセン)
22日(日)　納税表彰式（開セ）／第1回痴呆予防セミナー(約200人参加、開セ)

3月

7日(土)　日中友好交流団来日歓迎会（開セ)
27日(金)　学校給食センター落成式（開セ)


新しくなった学校給食センター

28日(土)　県ふるさと水と土保全モデル事業(戸倉地区、水車小屋、親水公園)竣工式


戸倉地区に完成した水車小屋

30日(月)　知的障害者授産施設鮫川たんぽぽの家開所式

4月

27日(月)　保健推進員委嘱状交付式(30人、開セ)

5月

2日(土)　第2回鮫川ふるさと春まつり（実行委員会主催、～5日、鹿角平観光牧場ほか)
9日(土)　東京鮫川会「ふるさと探訪ツアー」(～10日、ほっとはうすほか)
19日(火)　ふれあいリハビリ教室開級式（21人参加、ひだまり荘)
20日(水)　公民館事業「社会学級」開級式(～12／14、227人参加、開セ)
21日(木)　第49回地方植樹祭（ひだまり荘）／スポーツ教室（バドミントン、～10／29、計11回、39人参加、トレセン)
23日(土)　公民館事業「チャレンジスクール」開級式（43人参加、開セ)
28日(木)　村シルバー人材センター設立総会（開セ)
30日(土)　農道笊内線開通式

6月

7日(日)　第8回さわやか高原ロードレース大会(282人参加、鹿角平周辺)
9日(火)　子育て支援「さくらんぼ教室」開級式(18組、40人参加、開セ)
14日(日)　納税組長会議（開セ)
18日(木)　スポーツ教室（レクリエーション・ダンス、～7／16、計5回、53人参加、トレセン)
21日(日)　健康づくり夏季球技大会(青少年広場ほか)
28日(日)　親子読書教室(～10／25、計5回、32組参加、歴史民俗資料館)

7月

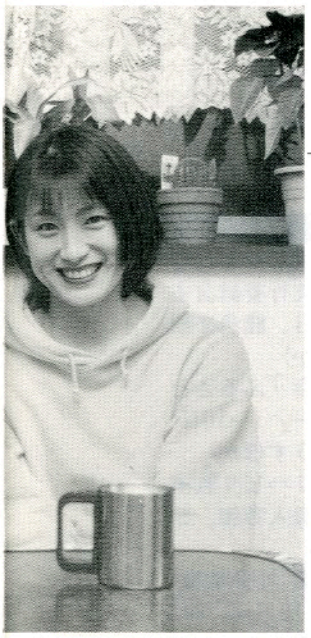
12日(日)　参議院議員通常選挙
15日(水)　第48回社会を明るくする運動非行防止研修大会（開セ)
19日(日)　少年少女球技大会(西野

新春特別企画

1999 始まりの予感

特集2

1999年。あなたにとって、どんな年になるでしょう。きっと、素晴らしい年になることと思います。「広報さめがわ」では、新春特別企画として、「結婚」「還暦」「出産」「新入学」「就職」と、人生の一つの節目を迎え、新たな第一歩を踏み出す方々に登場していただきました。1999年――。何かが始まる予感がします。



結婚

笑顔が似合う家庭にしたいですね。

斉藤博文さん（24歳）・美子さん（24歳）　大字赤坂西野字草牛

「初めは患者と歯科衛生士の関係だったんですよ…」。顔を見合わせながらそう話すのは、三月十四日に結婚式を挙げるという斉藤博文さんと美子さん。美子さんが勤める棚倉町の歯科医院に、博文さんが患者として通い始めたのが二人の出会いでした。

お互いの第一印象を、博文さんは「目がきれいな人」、一方の美子さんは「『患者さんが来た』と思いました（笑い）」と照れくさそうに話します。

「一緒にいると安心する。そして、素直な自分になれる…」。お互いが結婚を決意



笑顔で取材に応じる２人

した最大の理由です。

「いつも笑顔が絶えない家庭、笑顔が似合う家庭が理想ですね」と話す二人。実は、平成十年十月十日に入籍を済ませ、博文さんの家族と一緒に暮らしています。

「子どもは何人……」と尋ねると、「四人以上欲しいです。多ければ多いほどいいですね（笑い）」と、二人の意見が一致。

少子化が進む中、とても力強い言葉が返ってきました。

将来の夢は、マイホームを建てること。二人で力を合わせれば、きっと夢も実現することでしょう。

還暦

いくつになっても気分は20歳。

鈴木ミツイさん（59歳）　大字渡瀬字上

「私なんかよりも、もっとふさわしい人いるんじゃないのかい」。取材の日、少し照れながら玄関先で出迎えてくれた鈴木ミツイさん。

昭和三十二年に棚倉町から嫁ぎ、ご主人の実さんと炭焼きを始めてから三十年以上になるといいます。「昔は機械がなかったから、自分の身体だけが頼りだったよ。仕事はきつかったね」と、当時の苦労を話します。

現在では、質の良い炭の評判を聞きつけ、遠くは千葉や埼玉から、わざわざ買いに来てくれるお客さんもいるといいます。それが、ミツイさんの生きがいでもあり、働く意欲にもつながっているそうです。

「もうすぐ還暦を迎えますね」と尋ねると、「還暦といっても今までと変わらないね。いくつになっても、気分は二十歳のころのままだよ（笑い）」。

「健康で働けることが一番うれしいですね」と話すミツイさん。ご主人と一緒に、ゆっくりと温泉旅行を楽しみたいという夢もあります。

「これからも、皆さんに喜ばれる良質な炭をつくっていきたいですね」と、ますます意欲的なミツイさんです。

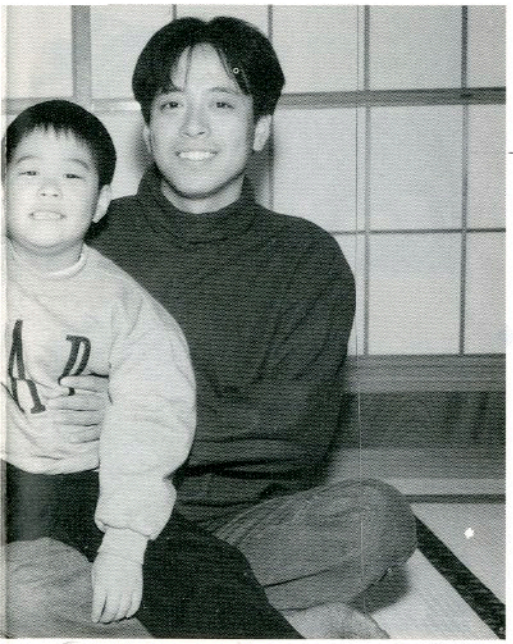


ご主人の実さんと一緒に

出産

早く子どもの顔が見たいです。

我妻英樹さん（24歳）・啓子さん（23歳）夫妻　大字西山字落合



「父親になるという実感は、まだあまりないんです。でも、早く子どもの顔が見たいですね」。少し顔をほころばせながら話すのは、四月にお父さんになるという我妻英樹さん。

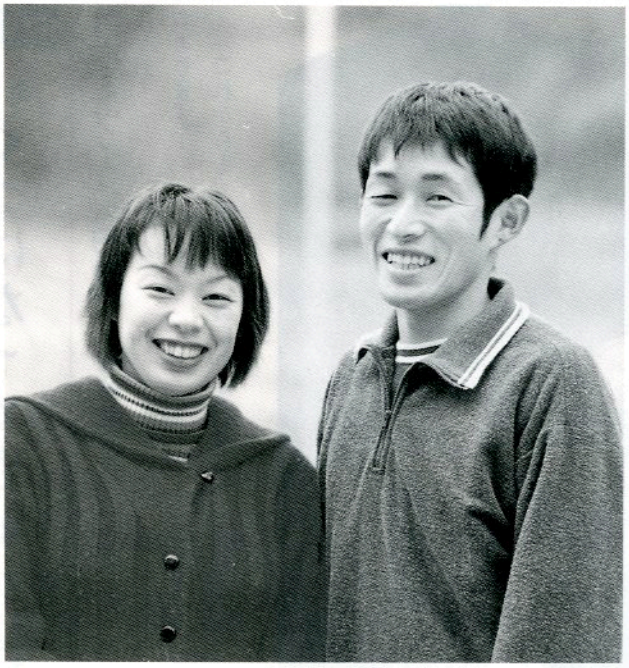
英樹さんの両親も、初孫の誕生を今から楽しみにしているといいます。

「初めてのことなので不安はありますが、家族や職場の人たちもいろいろと気遣ってくれるので気持ちが楽になります」と啓子さん。周りの人たちの接し方も徐々に変わってきているようです。

「生まれてくる子どもには、自分の得意なことを見つけさせ、それを伸ばしてやりたい」と夢をふくらませる二人。その反面、「子どもが少なくなり、近所にも小さい子どもがいないので、ふれあう仲間ができるかどうか心配ですね」と、少子化社会への不安も話します。

「子どもは二人か三人欲しいですね」と笑顔で話す二人。「今まで以上に自覚と責任を持たなければ…」と、気を引き締める英樹さんは、すでに父親の顔。

「元気に生まれてきてほしいね」。英樹さんは、啓子さんの体を気遣いながら、啓子さんとおなかの子どもに優しく話しかけていました。



子どもの誕生が待ち遠しいと話す2人

新入学

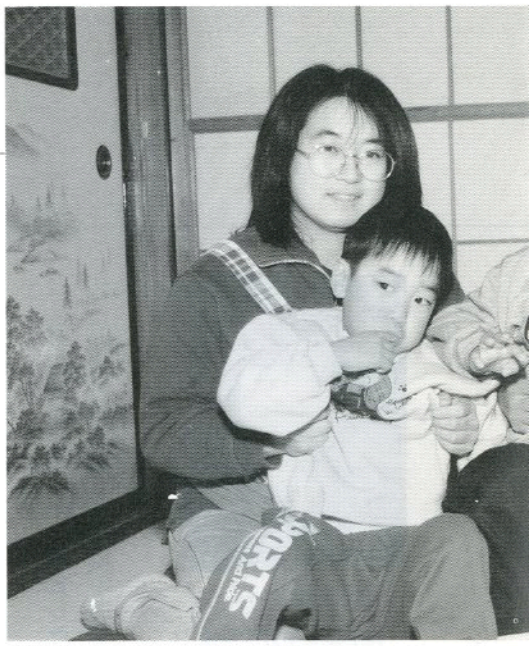
子どもの成長って早いですね。

芳賀一博さん（28歳）・美紀さん（28歳）・大輔くん（6歳）　大字西山字摺合

子どもの成長過程の中で、小学校入学は一つの節目ではないでしょうか。

芳賀一博さん・美紀さんの長男大輔くんは、今年四月に晴れて鮫川小学校に入学します。

初めての入学式を迎えるということで、「勉強についていけるか」「先生の話をきちんと聞くか」など、さまざまな心配もあ



右から一博さん、大輔くん、二男恭輔くん、美紀さん

るとのこと。

一方の大輔くんは、「小学校に入ったらみんなでサッカーをやりたい」と、今から入学が待ち遠しい様子。最近では、字を書く練習にも熱中し、頑張り屋の一面ものぞかせています。

「どんな子どもに育ってほしいですか」と尋ねると、「このまま素直に育ってほしい」と一博さん。「とにかく健康に育ってくれることが一番ですね」と美紀さんは話します。また、「返事とあいさつは、きちんとできる子に育てたい」と、二人の共通意見。

「生まれたと思ったら、もうすぐ小学一年生。子どもの成長って早いなあという実感ですね」と、大輔くんの成長に目を細めながら、一博さんと美紀さんは話してくれました。

就職

信頼される社会人になりたいです。

五十嵐誠さん（18歳）　大字赤坂西野字官沢

現在、棚倉高校に通う五十嵐誠さんは、九月に地元企業の「鮫川器機株式会社」に就職が内定。この春から、社会人としての第一歩を踏み出します。

両親としては、「一度は都会に出て社会勉強を…」という思いがあったそうですが、本人は、「都会よりも鮫川のような田舎が好きなんです」。「自動車に乗りたくて地元を選んだんだろう」とお父さんの一郎さんは苦笑い。

「就職難」といわれている現在、求人の件数も年々少なくなっているといいます。誠さんの同級生の就職希望者のうち、まだ就職先が決まらないという人がたくさんいるというのが現実。その中で、早くから就職先が内定した誠さんの両親は、「うれしいですね。とりあえず安心しました」と、顔を見合わせながら話します。

「四人兄弟の二番目で、はっきりとした性格」と、誠さんについて話すお父さんは、「学生時代とは違って人間関係が難しくなってきますから、とにかくまじめに働いてほしいですね」。

一方の誠さんは、「社会に出て早く働きたいですね」と意欲十分。「職場の先輩からも好かれ、信頼される社会人になりたいです」と、目を輝かせながら抱負を話してくれました。



両親と一緒に

第3回青少年主張大会

最優秀賞に金澤かおりさん

村青少年健全育成推進協議会主催の「第三回鮫川村青少年主張大会」は十一月三日、山村開発センターで開かれ、小学生から青年まで十四人が出場し、日ごろ考えていることを発表しました。審査の結果、棚倉高校三年の金澤かおりさんが発表した「かけがえのない体験」が最優秀賞に輝きました。また、優秀賞には、富田小六年の根本由香さん、鮫川中三年の金澤歩さん、村教育委員会の堀川直美さんの三人が選ばれました。



最優秀賞受賞作品

かけがえのない体験



金澤かおりさん
大字赤坂中野字真坂
棚倉高等学校　3年

「夢をみつけたい」「充実した生活をしたい」と胸に秘め、高校生活をスタートしてから二年半、遠足では友達とはしゃいだり、修学旅行では沖縄へ行き戦争の悲惨な過去を学んだりと、数々の思い出を作ってきました。それぞれ、進路の活動が忙しくなってきた今、その高校生活もあと数ケ月で終わろうとしています。あっという間に過ぎ去ったその月日の中で、少なくとも学校での生活や友人関係、そして課外活動という数々の場面を通し、何かを学ぶことができたのではないかと思います。特に、家庭クラブを通した課外活動の中で学んだことは、私の固定観念をくつがえすような貴重な体験をすることができました。

私は高校三年間、家庭クラブ中央委員の一員として活動してきました。家庭クラブ中央委員とは、「創造」「勤労」「愛情」「奉仕」という四つの精神に基づき、自主的に地域社会において、家庭生活の改善向上をはかるため、生活の先頭に立ち、それらを実践する委員会です。簡単に言ってしまえば、学校全体を組織とした奉仕的な活動を主にするクラブです。通学

第３回青少年主張大会発表者

小学生の部		
岡部　真武	渡瀬字青生野・青生野小学校６年	
～自然の宝庫鮫川～		
蛭田由理恵	渡瀬字田野上・渡瀬小６年	
～私たちとメディアの生活～		
根本　由香	富田字中沢・富田小６年	
～募金活動を通して思ったこと～		（優秀賞）
矢吹　直哉	赤坂西野字塩倉・西野小６年	
～緑の少年団活動から学んだこと～		
関根　雅敏	西山字菅田・西山小６年	
～ぼくの小さな親切と勇気～		
松崎　弘枝	赤坂東野字戸草・鮫川小６年	
～心の痛みを分かり合って～		
中学生の部		
石井久美子	赤坂西野字酒垂・鮫川中１年	
～地球のために～		
佐藤　悦子	赤坂西野字火打石・鮫川中２年	
～私たちにできること～		
金澤　　歩	赤坂西野字大塩・鮫川中３年	
～障害者の身になって～		（優秀賞）
高校生の部		
白坂　俊一	赤坂東野字橋久保・東白川農商高１年	
～鮫川村の良い所、悪い所～		
須藤美由紀	赤坂西野字滝・東白川農商鮫川分校３年	
～もう一人の自分～		
金澤かおり	赤坂中野字真坂・棚倉高３年	
～かけがえのない体験～		（最優秀賞）
青年の部		
圓井　利幸	赤坂東野字広畑・日本精工(株)福島工場	
～心の豊かさ、そのための勇気…～		
堀川　直美	渡瀬字青生野・村教育委員会	
～澄みきった青空の日に～		（優秀賞）

路のゴミ拾いやボランティア活動等、さまざまな体験をしてきましたが、中でも一番印象に残っていることは、今でも感触がよみがえってくる、高齢者疑似体験です。

高齢者疑似体験とは、手足におもりを付け、特殊なメガネをし、老人の不自由さを体験することです。福祉関係に興味のなかった私は思わぬ段差が老人の生活を不自由にする、などという話は聞くものの、自分にはまだまだ先のことだし、老人になってもあまり変わりない生活が送れるものだと思い込んでいたため、半ば、遊び半分の気持ちで参加しました。関節や膝などにサポーターを付け、メガネと杖を持ち学校を一周しなければならなかったのですが、思うように動けず、一歩一歩踏みしめるように歩くだけで精一杯でした。また、杖だけでは自分の体を支えることができず、友達に支えてもらいながら歩かなければならなかったので、当たり前のように上っていた階段も、かなり苦痛でした。たった一周しただけなのに、こんなにも歩くことが大変なのだということを身をもって感じました。

この体験をする前までは、私とは全く無関係な世界だと思っていたことも、老人の不自由さが理解できたことにより、私たちが当たり前のように生活していた中にも、まだまだ改善すべき点がたくさんあることに気づくことができました。また、いろいろな意味で、私の視野を広げるきっかけとなった体験でもありました。

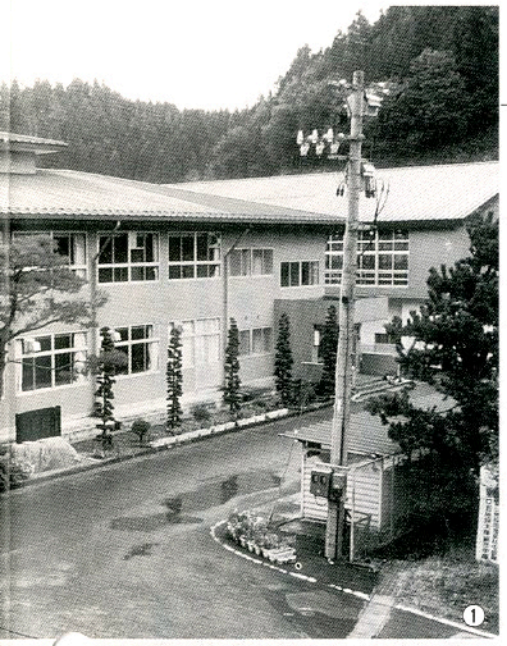
このような活動を通して、私はもう一つ得られたものがあります。それは、友人です。三年生になり、会長となった私は、何かをまとめるという仕事をしたことがなく、私に委員会を一つにまとめあげて活動することが出来るかどうか、とても不安でした。しかし、私が悩んでいれば一緒になって考えてくれたり、さまざまな意見を述べて励ましてくれたりと、いつも私の心の支えになってくれた友達がいます。今思えば、家庭クラブで得た経験も彼女がいたからこそ、よりよい体験ができたと思うし、彼女がいなければここまでみんなをまとめあげることも出来なかったのではないかと思えるので、とても感謝しています。また、改めて、友達の温かさを感じることができたと同時に、これからもずっと親友としてつき合っていきたいと思います。

私の三年間は、決してこのような良い思い出ばかりがあるわけではありません。悔しい思いもしましたし、物事を投げ出したくなったことも多々ありました。でも、このような経験をしたおかげで、将来社会人としていろいろな団体に所属して仕事をする時、この学校でみんなと成し遂げた活動は、自信となって私をさらに前進させてくれるような気がします。

地域と共に半世紀

福島県立東白川農商高等学校 鮫川分校

福島県立東白川農商高等学校鮫川分校が創立五十周年を迎えました。昭和二十三年四月に、東白川農業高校定時制課程分校として開校後、幾度かの変遷を重ねながら、地域に根ざした高校として歴史を刻んできました。同校ではこれを記念して、校門・校歌碑・学校案内板の設置、記念誌の作製など、さまざまな記念事業を実施しました。また、十一月二十一日には記念式典を挙行。歴代分校長や歴代父母と教師の会会長らに感謝状などが贈られました。鮫川分校の五十年を写真で紹介します。







写真説明

①現在の校舎／②第１回卒業式（昭和27年）／③楽団（昭和26年）／④農業実習（昭和38年）／⑤第１回鮫高祭（昭和49年）／⑥新校舎改築工事（昭和58年）／⑦情報処理室（平成10年）

昭和		
23	4	福島県立東白川農業高等学校定時制課程分校として鮫川公会堂に設置（農業科・家庭科）
24	8	福島県立塙高等学校独立に伴い、福島県立塙高等学校鮫川分校となる。校舎を当時の指導農場跡に移す
	8	校舎を増改築し、２教室１職員室をつくる
25	4	専任教員５名・兼任教員１名、３学級編成とする
26	3	鮫川分校校歌完成
	6	１教室増築し、３教室となる。事務雇１名配置
27	3	同窓会発足（塙高校）
	4	公民館日本間を借用し、和裁室とする。専任教員６名・兼任教員２名・事務雇１名
28	12	新校舎第一期工事落成、５

創立50周年記念誌「山峡」から抜粋

村内では誰言うとなく「鮫川分校」でなく「鮫川高校」と愛称するようになった。この愛称は今でも受け継がれているようだ。かねてから小規模校の特性を活かし、生徒と先生が一体となり、勉学に人生相談に、かつ雑談に花を咲かせながら人格陶冶に励む生徒たちの愛称校名として残したいものだ。

（吉田義一さん・昭和26年度卒業）

同級生の家で親御さんの不幸があり、ちょうど田植えの時期で人手がなく困っていたところから、大勢の仲間が参加して田植えをしたことがありました。

（窪木明さん・昭和48年度卒業）

当時の校舎は廊下を歩くだけでもギシギシ音がし、冬にはすき間風が入ってくる、そんな校舎でした。また、体育館への移動にも渡り廊下に屋根がなく、雨が降ると体が濡れるという学校生活でした。やっと3年の春に屋根付きの渡り廊下が完成したのを今でも覚えています。

（矢吹仁さん・昭和53年度卒業）

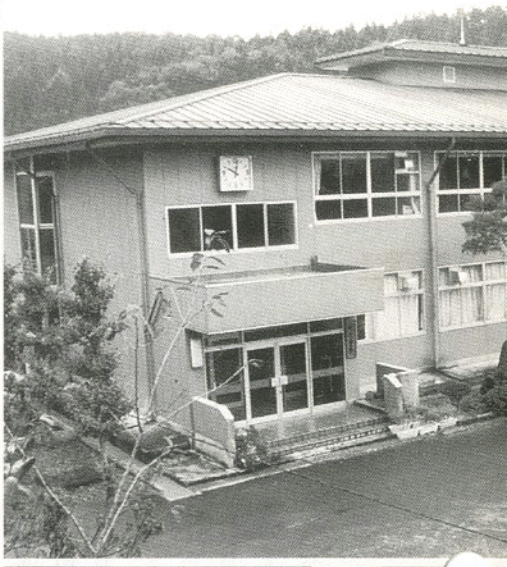
小さな学校ではありましたが、家庭的な雰囲気と、悩みを相談できた先生方、そして19人の友達がいたので楽しい3年間になったと思っています。

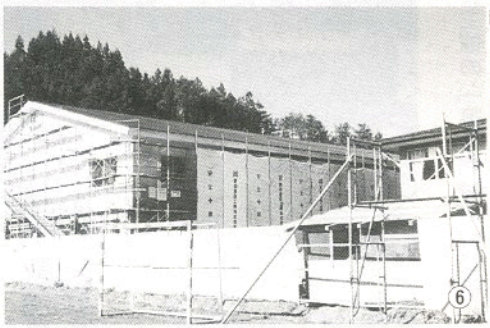
（緑川ひろみさん・昭和60年度卒業）

鮫川分校の先生方は、生徒一人一人に目が届く環境で生徒一人一人に厳しく、最後まで熱心に指導してくださいました。「厳しいから優しい」「優しいから厳しい」そういう先生方でした。これは、都会の詰め込み型の学校では体験し得なかった事だと思います。

（奥村健二さん・平成2年度卒業）


④




⑥



⑤




⑦



平成	元	2	3	4	6	9	10
	新制服制定	物置完成	募集定員を40名とする	情報処理室完成	創立五十周年記念式典挙行（校門、校歌碑、学校案内板建立）		

平成	5	12	3	11
	校舎落成式典挙行	体育館落成	新校舎落成・移転	創立三十周年記念式典挙行

平成	54	53	48
	鮫川分会発足（54年度）	渡り廊下完成	東白川農商高等学校同窓会

47	44	42	41	40	37	35	32
3	4	3	4	3	4		7
旧鮫川中学校に校舎移転。職員室1・普通教室6・特別教室6・体育館六百二十四平方メートル	全日制（定員44名）	調理室（24坪）完成	校内放送設備完了。パックネット備付	県補助、産振法補助により、理科実験室および被服室完成	塙高等学校から東白川農商高等学校に移管となり、校名が福島県立東白川農商高等学校鮫川分校となる（農業科募集復活）	農業科募集停止	校庭拡張、洋裁室移転、住宅移地、水道完成
全日制普通科募集（定員45名）、全日制普通科入学	全日制第1回卒業（定時制農業科卒業）	自転車置場完成					

広報にあなたの写真が載りましたらさしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111 内線214）

東石が2年振り3度目の栄冠

第9回鮫川村民駅伝競走大会



大勢の観衆に迎えられながらゴールする東石チームの石井康一さん

村体育協会主催の「第九回鮫川村民駅伝競走大会」は十一月二十九日、青生野小学校前をスタート、役場前をゴールとする十五区間、31・1キロのコースで開かれました。

大会には、各地区から合わせて七チームが参加。地元の名誉をかけてタスキをつなぎました。

その結果、東石チームが、二位の西山チームに一分余りの差をつけ二年振り三度目の優勝を果たしました。

今大会から、全行政区域を縦断するコースとなり、各区間とも多くの観衆が詰めかけ、大きな声援を送っていました。

成績は次のとおりです。

〔**総合順位**〕　1位＝東石（2時間6分00秒）　2位＝西山（2時間7分07秒）　3位＝西野（2時間9分16秒）

〔**区間賞**〕　▽1区＝本郷政希（東石）　▽2区＝須藤秀紀（西野）　▽3区＝石井貴大（西山）　▽4区＝清水真二（東石）　▽5区＝矢吹彩（中野）　▽6区＝三瓶千秋（東石）　▽7区＝中川西直子（東石）　▽8区＝石井政夫（西野）　▽9区＝松山ひとみ（西山）　▽10区＝芳賀省三（西山）　▽11区＝中川西幸（東石）　▽12区＝遠藤えりか（東石）　▽13区＝岡部隼人（中野）　▽14区＝湯坐純（中野）　▽15区＝大平信一（富田）

こんにちは保健婦です

心を育てる


村保健婦
村山通子

私たちが人と話したり、接したりするとき「この人はどんな性格なのだろう」と思うことがあります。「性格」は、子ども時代につくられます。言い替えれば、子育てでつくられるといってもいいでしょう。子どもを育てるというのは、二十年かかる大事業です。私たちの脳は二十年かかって発達し、大人の脳として固定していきます。大人の脳がつくられる過程が子育てで、勉強させるとか体を大きくするとかというだけではなく、子どもの性格をつくることが最も大事です。その人の性格が、大人になったときもっと成長できるかどうか、穏やかな人か、荒々しい人か、謙虚な人か、自分勝手な人か…。大人になってからの人格形成や生きる力の基礎が二十年間の子育てにあるのです。

思春期の問題は、思春期に始まるのではなく、すでに乳

握手を交わし貫通を祝う

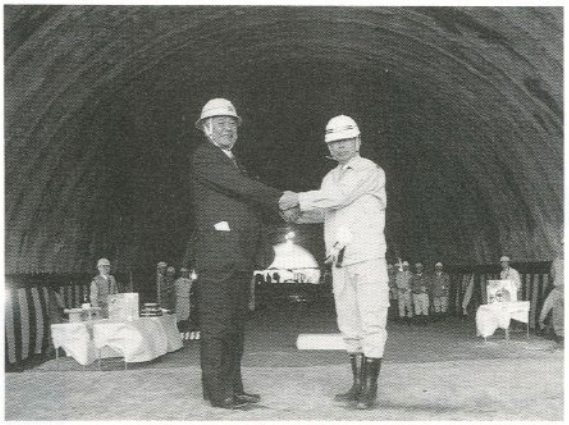
国道349号バイパス新宿トンネル貫通式

建設が進められている国道349号バイパス新宿トンネルの貫通式は十二月十日、県、村、工事関係者約五十人が出席し、赤坂中野字巡ケ作地内の現地で行われました。

渡辺駿県南建設事務所長が、秒読みの合図とともにボタンを押し最後の発破。貫通点の安全の確認、お清めをしたあと、渡辺所長、芳賀文雄村長、矢吹一男赤坂中野区長、宗田秀郎赤坂東野・石井草区長らがトンネルの両側から歩み寄り、握手を交わしました。

続いて、酒樽渡り（みこし）と鏡開きも行われ、貫通を祝いました。

新宿トンネルは、幅員十一㍍、長さ百四十三㍍で、本体工事は今年度中に終了予定、来年度中には供用が開始される見込みです。



握手を交わす芳賀村長（左）と渡辺県南建設事務所長

イルミネーションに歓声

遠ケ竜若衆会

赤坂東野字遠ケ竜地区の遠ケ竜若衆会（森元良会長・会員11人）では12月13日、イルミネーションの点灯式を行いました。

子どもたちに夢を与えようと、昨年に引き続き企画。式には、約180人が詰めかけ、もみの木をイメージした電飾に光が入ると、あちこちから歓声と拍手がわきました。地元中学生バンドの演奏も行われたほか、とん汁も振るまわれました。

イルミネーションは、１月13日まで毎日点灯されます。



イルミネーションをバックに演奏する中学生バンド

大きく躍進、敢闘賞受賞

第10回ふくしま駅伝

第十回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会は十一月二十二日、白河総合運動公園をスタート、県庁前をゴールとする15区間、１０２・９㌔のコースで行われました。

中学生、高校生が中心の鮫川村チームは、総合48位、村の部８位と健闘し、昨年の総合68位から大きく躍進。前大会よりも大きく順位を上げたチームを対象に今回から設けられた「敢闘賞」を受賞しました。



健闘した鮫川村選手団

幼児期の子育てに始まっています。脳の発達の過程で、乳幼児期に土台がつくられるかどうかにより、その上の建物も変わってくるのです。

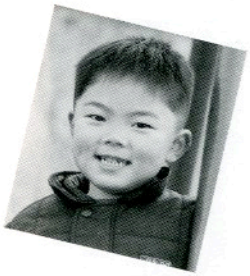
子どもに対する親の接し方は、思春期になっても乳幼児期とあまり変わらないことが多いようですが、親が気にする問題は変わってきます。中学生であれば、高校にちゃんと入れるかどうか、次は大学やいい会社に入れるかなどと課題は変わります。私たちは、子どもの健康状態、栄養状態や、学校での勉強の具合、スポーツが上手…などに目を奪われがちですが、子どもの中には成績に表れてこない、長い目でみるととても大切な力があります。それが生きる力であり、自立した大人になっていくことだと思います。

あなたは、どんな子育てをしていますか。「五つの生きるチェックポイント（石田一宏精神科医から）」で確認してみましょう。

▼好奇心、育っていますか。▼子どもに安心感を与えていますか。▼感動できる子ども（感性）にしたい？▼自分の頭で考える子ども（精神力）にしたい？▼生活者として自立させたい？

いばあれふ ろひ





村民リレー ⑨

子育ては楽しく

～子供の顔を見ると心が安らぎます～

私は今から八年前、平成二年にいわき市の久之浜町から鮫川村に嫁いできました。現在は、夫と子供四人、それから夫の両親と、八人の大家族で暮らしています。

今は子育ての真っ最中。鮫川村は、のどかで空気がおいしく、自然が豊富で、子育てには適した村だと思います。

四人の子供たちは、小学校、幼稚園、保育所にそれぞれ通っています。みんな性格が違い、けんかの絶えない日々ですが、子供の成長が見えてとても楽しく、また、どんなに疲れていても子供の顔を見るとほっとします。

子育てといっても、特別なことはしていません。ただ、のびのびと元気な子供に育ってほしいと願っています。

休日は、子供たちと一緒に買い物やドライブに出かけますが、周りに同年代の子供が少ないので、もう少し子供同士、親同士が触れ合える機会が欲しいと思います。

◇　◇

次回は、矢吹さんの紹介で、宗田貴さん（宿ノ入）の登場です。



矢吹久美さん

やぶき・くみ　赤坂東野字遠ケ竜在住。長男８歳（小２）、長女７歳（小１）、二女６歳（幼稚園）、三女４歳（保育所）の子供を持つ、子育て真っ最中の母親。30歳。

俳句

稲雀去来上手に鳴き上手　金沢　暁舟
望の陽の五浦の海や秋気満つ　中井　恒峯
寄り合って谿の水澄む菊日和　山本　朗史
母恋のよみがえる季や石蕗の花　矢部　正子
名月の光たよりに稲掛ける　小山田清哲
胡蝶蘭に妻の誕生日祝う　大池　魚水
あたたかや音立てて秋の縄悠々　斉須　信子
薬を焼く煙たなびく夕街道　黒田　寿香
滝しぶき瞬く光パラダイス　前田　信子
十重二十重峡に垣なす稲架襖　山本五十鈴

短歌

ふるさとの土産をバックに匂わせて帰省の人が立つ無人駅　赤坂　朝子
希望に燃え入社をしたる人も亦聴ては狎れて汚職の族か　松本　一郎
農政を乏しむ荒れ田眼を剝きてわれを迎える蝦蟇の一匹　森　芳子
父も待ち母も振りたる大鎌の柄には指跡なめらかにもつ　大平　太平
病むわれの肩に乗り来る秋尚さりげなけれどやさしさに満つ　中川西静江
朝顔に語りかけては水をやる花に通うか妻の心根　水野　国勝
ぬかり田に稲刈るわれは全身に泥浴びながら一日終る　岡部　シゲ
一日の労終え縋る稲架けにやっと腰のばす七十路のわれは　北條　平
カタクリの花一つ咲く吹雪にも耐ゆる姿を目にとどめ来ぬ　関根　美津
花ならばとうに散るものマタタビの葉は白々と今日も咲くなり　小松セツ子
半世紀伝承される文化祭会場に吸いこむ大正琴の音　鈴木　クニ
凄まじき濁流となる窓越しに見つつ一人の一夜を明かす　杉山　磯子



仲間たち

亀宝会（きほうかい）

代表　阿久津光翁・会員12人

正月に欠かせない物と言えば、何と言っても「しめ飾り」。

昔からの伝統を今に受け継ぎ、わら細工の技術に磨きをかけようと活動しているのが「亀宝会」。主に、公民館事業の「チャレンジスクール」などで、ぞうりやしめ縄づくりの指導に当たっています。

平均年齢が約八十歳と、高齢者パワー全開。「昔からの伝統を後世に伝えたい」と意気込みをみせています。

▼問い合わせ……阿久津光翁さん（大字西山字折戸・☎49-2886）

脳検診ソロソロと言う判定にわれも老齢かと　緑川　理羽
苦笑いする
雨上り青田吹く風減反を忘れて願う秋の豊作　水野　フク
侘び寂びを重ねて貼りしちぎり絵をひらめかせ吹く黄昏の風　坂本　雪絵
ゆすら梅頬ばりて昔を偲ぶなり友と二人のコーヒータイム　大竹　華子
寄せる波砕けてあぐる潮しぶき岬公園濡れいろ蘇鉄　鈴木イミ子
八十路の翁二百を越えし登山歴その映像に惹かれて登る　鷲野谷　満
家継がぬ子ばかりとなる育てたるわれに責任なしとは言えず　蛭田　浩市
節くれの手を温める宿の風呂眼交いの舟は灯を点しゆく　坂本　伊紀
尾を残しとかげ逃げたるそののちをしばし跳ねいる尾と遊ぶ猫　須藤美代子

ホットな話題をお届けします。

HOT NEWS



小野崎秀夫施設長（左）に収益金を手渡す圓谷会長（右）

チャリティー映画会を開催
収益金を「たんぽぽの家」に

鮫川地球倶楽部

ふるさと後継者育成事業（海外研修）に参加したメンバーで組織する「鮫川地球倶楽部」（圓谷實会長・会員五十八人）では、十一月二十三日に「チャリティー映画上映会」を開催しました。

映画は、知的障害者の娘ミキとその家族の三十年間の記録をアニメーションにまとめた「エンジェルがとんだ日」。障害を持つ人たちが、地域社会の中で普通に生活できる条件の整備と、社会生活上の障害を除去する必要性を訴えるもの。

映画会には、鮫川たんぽぽの家の通所者全員とその家族を招待。また、収益金十一万四千二百四円と花の鉢植えを同施設に寄贈したほか、通所者全員にハンカチをプレゼントしました。

くらしの情報

鮫川村役場　☎49-3111(代表)

村の人口

上段　11月1日現在
下段　12月1日現在

人口	世帯
4,909人(－3)	1,121戸(－1)
4,909人(±0)	1,122戸(＋1)

男	女
2,440人(＋2)	2,469人(－5)
2,441人(＋1)	2,468人(－1)

今月の納付

・国民年金保険料　1月分
納期限　1月25日(月)
(納期内に納めましょう
口座振替の方は残高確認を)

こちら窓口

11月1日から12月15日までの届け出分

●お誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	月／日	保護者
大石草	鈴木 杼平(しゅうへい)	10／24	正人
岡田	藤田 一秋(かずあき)	10／30	芳明
前田	前田 晃里(ひかり)	10／30	丙午
大房	吉田 咲(さき)	11／4	日出男

●おくやみ申し上げます

地区	亡くなられた方	月／日	年齢
新宿	穂積 光位	11／14	61
広畑	吉田 春男	11／19	82
発地岡	高野 佳	12／7	73
石ノ花	舟木 近明	12／10	81
新宿	小松チヨノ	12／14	92

税の申告が始まります

相談受付は2月15日～3月15日

2月15日から3月15日まで税の申告相談を行います。この申告相談は、平成10年の年間（平成10年1月から12月まで）の所得を申告していただくもので、平成11年度の村・県民税や国民健康保険税の課税の基礎となります。最寄りの会場でお気軽にご相談ください。

申告が必要な人

▼自営業や農業など、事業を営んでいる人▼地代、家賃、配当金を受け取ったり、譲渡などの所得がある人▼給与や退職金以外の所得の合計額が20万円を超える人▼2カ所以上の事業所などから給与の支払いを受けた人▼国民健康保険の加入者

持参するもの

所得の種類、控除の種類によって必要な書類は変わります。

・**必ず持参するもの…**▼本人の預金通帳▼印鑑（預金通帳に使用の印鑑）▼生命保険料や建物共済などの払込証明書

※**所得の種類によっては、次の書類も必ず持参してください。**

・**農業所得…**▼収入の分かるもの（収支計算をしている人）▼平成10年中に農機具などを購入した場合は、契約書または領収書▼肉用牛売却所得の免税措置を受ける人は出荷証明書

・**給与所得…**▼源泉徴収票または事業主の発行する給与・賃金の支払証明書や支払明細書

・**営業・その他の事業所得…**▼収入の分かるもの（売上帳など）▼経費内訳書および領収書（集計してきてください）

・**不動産・山林所得…**▼売買契約書または明細書

※**控除を受ける人は次の書類が必要です。**

・**医療費控除…**▼医療機関の領収書または支払い金額が証明できるもの（月ごとに集計）

・**住宅取得特別控除…**▼住民票

税務署からのお知らせ

白河税務署
☎ 0248－22－7111

所得税の還付申告

平成10年分の所得税の確定申告は、2月16日から3月15日までですが、確定申告をする必要がない人でも、マイホームをローンなどで取得した人、高額な医療費を支払った人、災害や盗難にあった人などは、確定申告をすると所得税が戻る場合があります。還付申告は1月から受け付けていますので、できるだけ早めに済ませてください。

贈与税の申告と納税

申告相談の日時と会場

月	日	曜	時間	対象地区	会場
2	15	月	午前9時～午後4時	青生野	青生野集落センター
	16	火	〃		
	17	水	〃	渡瀬	渡瀬区集落センター
	18	木	〃		
	19	金	〃		
	22	月	〃	富田	富田区集落センター
	23	火	〃		
	24	水	〃	赤坂東野石井草	東石区集落センター
	25	木	〃		
	26	金	〃		
3	1	月	〃	赤坂中野	山村開発センター
	2	火	午前9時～正午		
	3	水	〃		
	4	木	午前9時～午後4時	西山	西山区集落センター
	5	金	〃		
	8	月	〃		
	9	火	〃	赤坂西野	赤坂西野区民センター
	10	水	〃		
	11	木	〃		
	12	金	〃	申し込みできた人（記帳でった上告か	山村開発センター
	15	月	〃		

の写し▼登記簿謄本や請負契約書の写し▼増改築の場合は、増改築等工事証明書▼借入金の年末残高証明書

相談受付会場

申告相談は、各地区で行います。最寄りの会場で相談できない場合は別の会場でも受け付けますが、前日までにご連絡ください。また、税務署から通知を受けた人は、白河税務署で申告をしてください。

問い合わせ　総務課税務係（☎内線217、218）

現金など、1年間に60万円を超える財産をもらった人は、贈与税の申告をしなければなりません。贈与税の申告と納税は、2月1日から3月15日まで。

住宅取得等特別控除説明会

▼日時…2月5日(金) ①午前の部＝9時30分～②午後の部＝1時30分～**▼場所**…白河地域職業訓練センター（白河市）**▼持参するもの**…借入金残高証明書、住民票、建物の登記簿謄本、建築価格の分かるもの（請負契約書など）、源泉徴収票、印鑑

史・資料を探る
村史編さん室

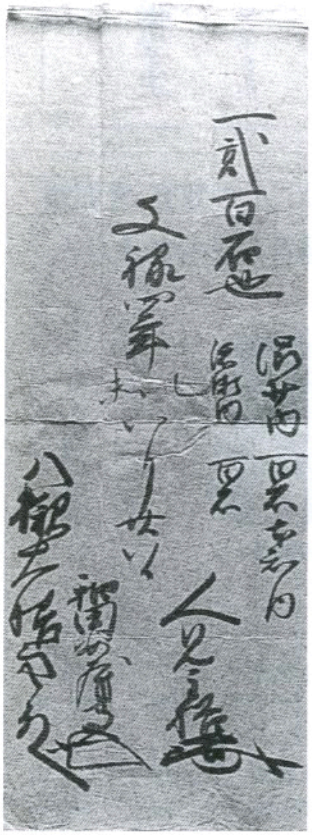
村史資料を読む⑥

佐竹氏奉行知行目録二通

～文禄四年（一五九五）八月～

鮫川村史第二巻近世編四三一～三頁資料No.十一、十二は、それぞれ佐竹氏（義宜）の奉行にかかわる知行目録です。文禄四年は次の年から慶長となり、やがて慶長五年の関ケ原の戦いとなりますから、時代は中世から近世へと移る時期に当たります。

文禄三年には、常州をはじめ南郷の地にも秀吉による検地が行われ、これによって佐竹氏の五十四万五千八百石にのぼる領国が安堵されました。この常州検地目録には「かまた村七三五石一斗四升五合」とともに「西山村二四六石八斗五升」が上げられています。（四二二頁文禄四年岩ヶ崎郡村高抄参照）



塙町史第一巻によれば、文禄三・四年には南郷赤館城代には和田安房守昭爲があり、人見主膳がこれを補したと書かれてあります。和田・人見両奉行が佐竹義宜の命を受けて家臣の知行宛行を行ったものと思われます。十一の文書は山崎修理への宛行で常世のうち六十石、渡瀬のうち四十石、合わせて百石。また、十二では八槻大膳亮へ渋井のうち百石、渡瀬のうち百石、計二百石の宛行となっています。

両知行文書とも「渡瀬」の地が明記されているのが注目されるところです。今から四百三十余年以前、すでに渡瀬の地には田畑が開かれ、生産が行われていたこと、そして、それが知行高として組み込まれるという公の扱いに供されていたことがわかります。中世末・近世初頭の鮫川を知る貴重な史料と言わなくてはならないでしょう。

今回まで中世資料を鮫川の今日の地名とのかかわりで読んでみました。ややもすると、遠くへだった難しいものと思い敬遠しがちな史資料も、このように見てみると、今日につながる身近なものに読めてくるように思われます。

鮫川村史第二巻は、自然に関するものと考古・原始古代・中世・近世をもって構成されています。収録されているものは一つ一つ貴重なもので、ことに中世文書は原本・写本ともそれぞれ写真が添えられています。その採集撮影の労にも心を寄せて読んでくださるよう念じています。





教育

鮫川村奨学基金奨学生

鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

〔**募集期間**〕 平成11年3月1日(月)～3月31日(水)

〔**応募資格**〕 ①鮫川村に引き続き5年以上住んでいるか、住んでいたことがある者。②高等学校、高等専門学校および大学、短期大学に在学または今春入学予定の者。③経済的理由により修学が困難と認められること。④国や他の団体から同種類の奨学金の貸与、給与を受けていないこと

※奨学生は、選考委員会で願書の内容を審査決定し、出願者に通知します。

〔**貸与月額**〕 **①高等学校・各種学校**(1～3年)…2万円以内。**②高等専門学校**…3万5千円以内。ただし、第3学年までは2万円以内。**③大学および短期大学**…3万5千円以内

〔**貸与始期・期間**〕 平成11年4月から在学する学校の正規の修学期間

〔**奨学金の償還**〕 奨学金は無利子で、卒業後6カ月から毎月、10年以内に償還すること(事情により全部または一部を一時償還することができます)

〔**申し込み・問い合わせ**〕 村教育委員会学校教育課(☎49-3151)

福祉

貸し出します 車いす同乗軽自動車

自力で歩行困難な高齢者や重度の身体障害者、知的障害者などの外出を支援するため、「車いす同乗軽自動車」の貸し出しを行います。

〔**貸出方法**〕 希望者は、初回に登録していただきます。登録後に利用したいときは、利用日の3日前までに住民課福祉係に申し込み、車両を役場で借り受

鮫中に「心の教室」を開設

相談員に小松幹夫さん


小松幹夫さん

あなたの悩みを話してください…。

県教育委員会では、県内の各中学校に「心の教室」を開設し、相談員を設置しています。

鮫川中学校の「心の教室」は、校舎の一部を改造し、名称を「ふれあいルーム」として開設されました。

ふれあいルームで、直接相談に応じる心の教室相談員に、小松幹夫さん(前村主任児童委員)が就任されました。

保護者からの相談にも応じます

生徒の悩み、不安などに対し、第三者的立場で相談に応じるほか、保護者からの相談にも応じます。

■

心の教室「ふれあいルーム」
直通電話番号 ☎49-2616

新しい民生・児童委員が決まりました

任期満了による民生委員・児童委員の改選で、新しい委員に厚生大臣と県知事の委嘱状が交付されました。任期は平成10年12月1日から平成13年11月30日までの3年間です。

本村の民生委員定数は16人で、生活上のあらゆる相談に応じ、住民福祉についての指導や行政とのパイプ役になります。また、児童委員も兼ね、子育て環境づくりや健全育成にも携わります。

主任児童委員の清水国明さんは、特に担当区域を持たずに村全域の児童福祉に関する相談に応じ、児童委員と携携をとりながら指導に当たります。

なお、過日の協議会総会で、民生委員総務に高木勝美さん、職務代理者に青戸学男さんが選任されました。


関根 彦孝さん(新)
西山字赤柴


矢吹 定子さん(再)
赤坂西野字仁田


園谷 菊重さん(再)
西山字鬼越

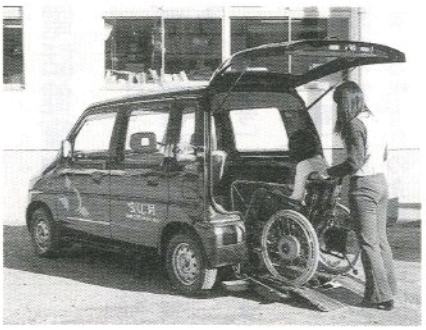

江田 一夫さん(新)
赤坂西野字荻ノ沢


高木 勝美さん(再)
赤坂中野字薄ケ久保


松崎 健一さん(新)
西山字岩野草

けます。返却の際は、車内外の清掃をしてください。料金は無料です。

〔利用できる範囲〕　通院、入退院時の送迎、買い物、行事への参加などに利用できます。地域は、東白川郡、西白河郡、白河市、浅川町、石川町、古殿町。ただし、高速道路の利用はできません。



〔利用期間・時間〕　原則として1日のみの利用で、午前9時から午後5時まで。週1回。

〔申し込み・問い合わせ〕　住民課福祉係（内線233）

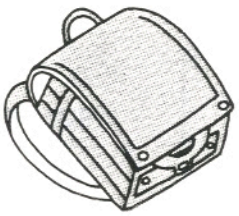
◇　◇

運転手・介助ボランティア募集

この事業にあわせて、運転手、介助者などのボランティアを募集します。詳しくは、村社会福祉協議会（ひだまり荘内、☎49-3600）へ。

平成11年度新入学予定児童

もうすぐ一年生



平成11年4月に小学校に入学する児童は、平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれたお子さんです。平成10年12月1日現在の調べで、入学予定のお子さんは次の56人です。名前が違っていたり、漏れていましたら、1月29日(金)までに村教育委員会学校教育課(☎49-3151)に申し出てください。

（ ）は保護者・敬称略

・青生野小学校（5人）　大竹涼（伸克）生田目聖也（利雄）堀川奈津美（照夫）岡部里美（忠市）長井静香（良一）

・渡瀬小学校（7人）　藤田雅之（浩之）遠藤一樹（幹一）大森千聖（良幸）芳賀英里（正次）芳賀七穂美（正人）木之内裕子（茂雄）金澤楠（寿）

・富田小学校（3人）　戸村侑司（正明）鷺野谷真成（真子）小嶋麻依（満）

・西野小学校（10人）　鈴木康史（善康）増谷文誉（隆夫）田子拓人（宣広）増子麻美（学）生田目梓（太一）緑川晴香（義勝）矢吹明日香（弘）高坂美香（隆之）石井由香里（幸一）高坂真弥（浩幸）

・西山小学校（12人）　坂本翔大（清美）関根克弥（一則）関根雄一（幸雄）高野祐樹（晴一）生田目智章（敦弘）関根正未（正二）阿久津裕司（伸安）松崎友騎（義安）芳賀丈（一男）阿久津一稀（孝夫）関根光代（明）大竹友子（良）

・鮫川小学校（19人）　高木奨太（洋市）本郷広貴（金一）芳賀大輔（一博）緑川誠（好之）松本佑太（健一）矢吹健太（浩美）岡部朋美（武夫）薄井未来（清巳）市村多子（春二）前田早月（均）湯座英里奈（章次）　芳賀秀美（文男）矢吹奈緒（和浩）吉保琴恵（広幸）羽田結花里（孝雄）芳賀理幸（一成）水野佑郁（秀昭）宗田亜美（貴）蛭田舞菜美（忠）







献血

平成10年度第２回

ご協力ありがとうございました

10月23日（金）、献血車が来村し、次の方々からご協力をいただきました。ありがとうございました。

（五十音順・敬称略）

【成分】 鷺野谷弘行（二反田）笹島浩子（青生野）高木頼子（薄ケ久保）田子勉（東前田）芳賀真一（福原）舟木正二（広畑）堀川直美（青生野）前田勝之（前田）矢吹智広（塩倉）

【400mℓ】 恩田春雄（古殿町）菊地章夫（仙台市）木之内満男（下）高木正則（新宿）圓井正男（取上）生田目京子（辺栗）生田目誠（青生野）芳賀正人（渡瀬・上）藤田洋美（広畑）船木博枝（反田）水野勝美（宝木）村山義美（小野町）

【200mℓ】 青戸代吉（彦次郎）青砥ハツ子（塙町）阿久津政江（後折戸）石井哲（酒垂）石井久美子（西野内）大平光英（石川町）小松次男（大戸中）佐藤二三江（火打石）佐藤幸恵（棚倉町）白坂澄江（茅）鈴木憲子（矢吹町）鈴木眞理子（大塩）須藤美由紀（滝）須藤ヨシ子（岩野草）関根勝義（大平）宗田トミ（内ケ竜）高宮裕司（棚倉町）田子久子（真坂）円谷初枝（中沢）芳賀厚子（渡瀬・上）芳賀春子（石川町）星秀子（蕨平）本郷まさ子（戸草）本多友子（青生野）増谷隆夫（荻ノ沢）水野亮達（沼野沢）矢吹かおり（岨長）湯坐喜美重（真坂）

■

次回献血は、平成11年３月12日（金）の予定です。ご協力をお願いしますす。

相談

電話健康相談

村では、12月から24時間対応の「電話健康相談室」を設置しました。

〔電話番号〕 **0120-09-1299**（電話料無料）

〔相談内容〕 病気の悩み、育児の不安、不意の事故、心の健康、お年寄りの介護、福祉情報など

〔相談の仕方〕

①電話をかける

②電話の相手に「**福島県鮫川村**」と伝える。個人の名前については匿名でもかまいません

③相談・応答（保健婦、助産婦、栄養士、看護婦、カウンセラーなどが相談に応じます）

〔問い合わせ〕 住民課保健係（☎内線236）

心配ごと相談

〔日時〕 1月20日（水）午前10時～午後3時（心配ごと相談では、午後1時から弁護士が相談を受けます）

〔場所〕 山村開発センター

行政相談

〔月日〕 1月18日（月）

〔場所〕 郡山市身体障害者福祉センター

〔対象〕 肢体不自由者

〔その他〕 相談希望者は、住民課福祉係（☎内線234）に事前連絡が必要。相談当日は、身体障害者手帳を持参。

身体障害者巡回相談

第51回鮫川村成人式

ハタチの門出を祝福します。

とき 1月15日(金) 午前10時から

ところ 山村開発センター



シリーズ **精神保健** 第2回

本人からのメッセージ

文／佐藤正彦（郡内在住）

精神障害者が自分のことを文にして、広報に掲載することなど昔なら信じられないことでした。私が精神病にかかってから平成十一年でまる十年になります。自分が精神病であることを、今まではなるべく隠してきました。今でも堂々と精神病であることを明らかにする勇気は奮い起こさなければありません。しかし、誰かが勇気を出して話さなければ、精神障害者への理解が得られないと思い、私はペンを取りました。

休日当番医（電話してから受診してください）

月日	病・医院名	所在地	電話番号
1／1（金）	緑が丘診療所	棚倉町	33-9468
	塙厚生病院	塙町	43-1145
	浅川南診療所	浅川町	36-3302
1／2（土）	杉山胃腸科外科皮膚科	棚倉町	33-7551
	車田病院	塙町	43-1019
	大野病院	石川町	26-1181
1／3（日）	和田医院	棚倉町	33-2012
	石川医院	塙町	43-0003
	愛恵会大野診療所	石川町	26-2615
1／10（日）	勝田医院	棚倉町	33-3008
	木村医院	矢祭町	46-3528
	中島病院	石川町	26-3415
1／15（金）	大木医院	棚倉町	33-2424
	金沢医院	矢祭町	46-2312
	やまもと内科クリニック	石川町	26-8311
1／17（日）	東白川中央病院	棚倉町	33-3263
	東舘診療所	矢祭町	46-3165
	大野病院	石川町	26-1181
1／24（日）	藤田医院	棚倉町	33-2013
	中島医院	塙町	43-0373
	中島病院	石川町	26-3415
1／31（日）	あらまちクリニック	棚倉町	33-8018
	塙厚生病院	塙町	43-1145
	石川中央医院	石川町	26-2024

ごみ収集日（1・2月）

収集場所	種別	1月	2月
江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩	可燃物	7.11.14.18 21.25.28	1.4.8.15.18 22.25
	不燃物	29	12.26
さぎり荘～村営住宅 赤坂中野団地	可燃物	7.11.14.18 21.25.28	1.4.8.15.18 22.25
	不燃物	13.27	10.24
鮫川分校（不燃物のみ）～鮫川中学校	可燃物	7.11.14.18 21.25.28	1.4.8.15.18 22.25
	不燃物	14.28	25
関下～越虫～青生野小～世々麦～葉貫～蕨ノ草～中沢～関口	可燃物	6.13.20.27	3.10.17.24
	不燃物	13.27	10.24
真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢	可燃物	6.13.20.27	3.10.17.24
	不燃物	14.28	25
官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜	可燃物	6.13.20.27	3.10.17.24
	不燃物	20	12.26
石井草～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保	可燃物	6.13.20.27	3.10.17.24
	不燃物	22	19

寄付・寄贈

ありがとうございました

（敬称略）

▼社会福祉事業のために（金員）…穂積浩志（新宿）／吉田和男（広畑）／蛭田洋二（関口）／高野博光（発地岡）／舟木利美（石ノ花）／小松幹夫（新宿）／ふるさと文化芸能クラブ（代表・有賀華子、文化祭発表会益金／鮫川村婦人会（会長・関根由美子、文化祭バザー益金）／大竹眼科（石川町）

▼さぎり荘に（しめ飾り）…鈴木實（大塩）

▼ひだまり荘に（絵画2点）…斎須ミヨ（新宿）

（11月1日から12月15日まで）

募金

赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金

平成10年度の「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」は、皆様から温かいご協力をいただき、目標額を上回ることができました。心から厚く御礼申し上げます。募金額、使途については次のとおりです。

〔募金目標額〕 981、000円

〔募金実績額〕 1、014、340円

（内訳）
- 行政区 890、680円
- 事業所 112、900円
- 窓口 10、760円

〔使途〕
- 赤い羽根共同募金（県内市町村の福祉事業などへ） 685、340円
- 堀川愛生園後援会募金 60、000円
- 歳末たすけあい募金（村内の要保護世帯と長期入院者、各施設の入所者に越冬見舞金として） 269、000円

〔問い合わせ〕 村社会福祉協議会（☎49-3600）

私は去年（平成十年）、調理師の試験を受け合格しました。前まで試験合格後の免許申請で、免許が与えられませんでしたので、日本で調理師の資格を持つ精神障害者はそれほどいないと思われます。私は頑張って精神障害者も健常者と同然までいかなくても、やればできるということを見せられたらいいと思います。

今でも精神病者は、自動車運転免許の学科試験を受けることができません。現実にはちゃんと自動車を運転している精神障害者はたくさんいるのにです。そして、精神障害者は警備員にはなれませんから交通誘導員にもなれません。

精神障害者は、なかなか仕事がありません。不況で健常者にも仕事がないのですから当然と思われます。ですが、「精神障害者イコール無能・危険」というレッテルがあり、門前払いにされている感があります。それでもだんだんと精神病への社会の理解が深まり、ぽつぽつと仕事が見つかるようになってきています。

ナイフを持って市民を襲う精神障害者など、まったくというほどいません。ごくまれに事件を起こす精神障害者がいるからといって、すべての精神障害者を危険視するのは、まだ理解の足りない偏見だと思います。

平成10年12月・平成11年1月合併号
発行・編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL（0247）49－3111 FAX（0247）49－2651
印刷／佐藤印刷所

ふるさとのむかし話 ⑨

戸倉のはな取り地蔵さま



むかしむかし、正直で大変気さくな、源エ門という百姓が戸倉村に住んでいました。

ある日、なんとか今日中に代かきをおやそうと、あせりながら馬を追い、一人で仕事をしていました。そして、日暮れも近く、馬もそろそろ疲れてしまったのか、いくら追ってもごねて一歩も動かなくなってしまいました。源エ門が途方に暮れていると、どこかで見たことのあるかわいい子供が近よってきました。子供は源エ門に声もかけず、田の中にジャブジャブと入ってくると、馬のはな面に手をかけ、いかにも慣れている手つきで、はな取りをはじめました。

すると、馬は今までとうって変わったように元気に動きだし、源エ門がそろそろ曲がるころと思う前に、ヒョイッヒョイッと右に左に動き、代かきは日の暮れる前にまたたく間に片付いてしまいました。喜んだ源エ門は、子供に家で夕飯を食べていくようにと言うと、黙ったまま子供は下の小川へ下りて行きました。

そして、しばらくの間、源エ門は子供を待ちました。しかし、いつまでたっても戻ってこないので下の小川へ行くと、子供の姿は見当たりませんでした。源エ門は、それでは小川に沿って建ててある地蔵堂で遊んでいるに違いないと中に入っていくと、泥のついた足跡が床にあり、地蔵さまの足は泥土でドロドロに汚れていました。また、その顔は、さきほどの子供の顔とそっくりでした。

源エ門は、この五月の忙しいときに、たった一人で仕事をしている自分を哀れに思し召しくださって、地蔵さまがお助けになったに違いないと、床にひれ伏して感謝しました。

そのことがあってから、この地蔵さまは村人から「はな取り地蔵さま」と呼ばれ、現在も厚く信仰されているそうです。

あとがき

新年あけましておめでとうございます。昨年中は「広報さめがわ」にご支援、ご協力をいただきありがとうございました。本年も、取材などで何かとお世話になりますが、よろしくお願いいたします。私事ですが、昨年は少し体調を崩してしまい、健康のありがたさを痛感しました。今年は、「うさぎ」のようにピョンピョンと跳ね回り、活躍できる年にしたいと思います。

（舟木）



今月の表紙

卯年の笑顔

平成11年（1999年）は卯年です。今月号の表紙は、卯年生まれの方々の笑顔で飾りました。今年1年、表紙の皆さんのような素敵な笑顔で過ごせるように願いを込めて…。